

第2回 保育のデザイン塾「秋田ゼミ」(全3回) 『こどもの育ちを拓く保育』 講師：秋田 喜代美 氏 / 対論者：宮田 まり子 氏



あきた きよみ
秋田 喜代美 氏

講師 コメント

皆様こんにちは学習院大学の秋田喜代美です。

このたびは無藤先生のご紹介で保育のデザイン研究所で塾を開かせていただきます。「子どもの育ちを拓く」、「新たに開拓する」という在り方について宮田まり子先生と一緒に進めて対談形式でお話をしていきます。

宮田先生はもともと保育者の養成の大学を出られたあと、私の東大の大学院で研究室におられました。今回のテーマである自然や遊具そしてICTということで一緒に研究をしてきた仲間ですので、私だけではなく宮田先生の立場からもこの3つについて事例を紹介しながらお話ししたいと思います。

私は日頃、大学では保育者養成をしていないので、こうした大学的なところで保育についてお話を皆様とできることをとても楽しみにしています。ぜひ私の話や宮田先生との対談だけではなく、ツッコミ満載でいろいろ対話ができればいいなと思っています。ぜひ多くの方に参加していただけたら嬉しいです。お待ちしております。

- 所 属** 学習院大学文学部教育学科人文科学研究科教授。東京大学名誉教授。
- 専 門 分 野** 保育学、発達心理学、教育心理学、学校教育学。
- 経 歴** 立教大学文学部 助教授、東京大学教育学部教育学研究科・教育学部長などを経て現在。
日本乳幼児教育学会 副会長(2003～2006)、日本保育学会会長(2009～2016、2021～2024)、
東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター 初代センター長(2015～2019)等を務める。
こども家庭庁こども家庭審議会会長(2023.4～)。内閣府子ども子育て会議会長(2019.9～2023.3)。
文部科学省中央教育審議会教員養成部会委員・教育課程部会委員、厚生労働省社会保障審議会委員、
同児童部会長、同福祉分科会座長。ほか、多数の学会理事等を歴任。
- 著 書** 『リーダーは保育をどうつくってきたか：事例でみるリーダーシップ研究』(編著・2018、フレーベル館)、
『保育の心もち2.0～新たな窓をひらく～』(著・2021、ひかりのくに)、『園内研修でもっと豊かな
園づくり』(著・編集、2023、中央法規)、『遊び・学びを深める日本のプロジェクト保育：協働探究への誘い』
(監著、2024、中央法規出版) その他多数



みやた まりこ
宮田 まり子 氏

対論者 コメント

秋田喜代美先生のゼミではいつも、確かな理論に裏打ちされた考察に加え、実践に対する尊敬の念と、子どもへのあたたかで細やかな眼差しの在り方を教えていただけてきました。

今回、いくつかの話題をもとにしながらも、これまで秋田先生が育てられてこられた実践研究の在り方のようなものも皆様と共有できたら嬉しく思います。

- 所 属** 白梅学園大学 子ども学部 准教授。
- 専 門 分 野** 教育学、保育学。
- 経 歴** 国立市保育審議会副会長、「はじめの100か月の育ちビジョン調査研究事業」調査委員、東京大学教育学研究科附属発達保育実践政策学センター東京プロジェクトメンバーを務める。
- 著 書** 『園における3歳児積み木場面の検討』(2019、風間書房)、『ICTを使って保育を豊かに：ワクワクがつながる&広がる28の実践』(共著、2022、中央法規出版)、『園庭を豊かな育ちの場に：実践につながる質の向上のヒントと事例』(共著、2019、ひかりのくに)、『園づくりのことは保育をつなぐミドルリーダーの秘訣』(共著、2019、丸善出版)ほか。